

飛鳥資料館 無料開放のお庭

飛鳥資料館の前庭は入場無料であることをご存知でしょうか。当館には無料駐車場があり、お庭には休憩スペースがありますので、飛鳥へ訪れた人々の休憩スポットともなるでしょう。しかし、休憩場所としてだけでなく、館内とは違った見所があります。

館内には重要文化財である須弥山石や石人像など、石造物の実物が展示されています。これらは本来、庭園に飾られ水が流されていました。また、発掘された当初から欠けた部分があります。そこで、欠けた部分を復元したレプリカをお庭に配置し、実際に水を流しています。その他にも、出水の酒船石、愛嬌のある亀石のレプリカなどもあり、庭園をにぎわせています。

見所はレプリカだけではありません。春には桜が咲き、梅雨にはアジサイの花が、夏は美しい芝生の新緑、これから秋は美しい紅葉です。また、小鳥から野ウサギまで意外な訪問者と出会うこともあります。こうした美しい自然環境以外にも、お庭は様々なイベントの会場、改装中のミュージアムショップの仮店舗など、意外な活躍をみせます。

当館では今後とも、お庭で十分楽しめる工夫をしてまいりますので、どうぞお気軽にご入場ください。そして、お庭で興味が沸けば、是非館内にも入っていただければと思います。 (飛鳥資料館 成田 聖)

開館時間：9:00～16:30 (入館は16:00まで、月曜休館) お問合せ：☎0744-54-3561 (飛鳥資料館)



飛鳥資料館前庭

平城宮跡資料館

奈良文化財研究所創立60周年記念
秋期特別展「地下の正倉院・平城宮第一次大極殿院のすべて」

大極殿とは、古代の宮都における中心施設で、元日朝賀や天皇の即位など、国家儀式の際に天皇が出御する場所です。平城宮では、奈良時代前半と後半で別の位置に建て替えており、奈良時代前半の「第一次大極殿」は、宮の正門である朱雀門の真北に位置していました。

第一次大極殿院は、第一次大極殿を中心建物とする、築地回廊に囲まれた広大な空間のことです。南面の築地回廊の中央には門が、更に、その両脇に楼閣建物が付設され、壮大な景観を誇っていました。

第一次大極殿院地区に初めて鍬が入ったのは1959年のことです。それ以来、50年の間に47回にもおよぶ発掘調査を経て、ほぼ全貌があきらかになりました。本展では、第一次大極殿院地区で出土した瓦、巨大な柱根をはじめとする建築部材、整地土に紛れ込んだ木簡、建物を取り壊す際の祭祀具、今はなき建物を彷彿とさせる検出遺構の写真や図面など、50年の発掘調査成果をギュッと凝縮してまるごとお見せします。『続日本紀』などの歴史書だけでは捉えきれない、当時の国家の中枢の様子を垣間見ることのできる、またとない機会です。毎年恒例の木簡展示も総数72点(3期に分けて展示)と圧巻です！ (企画調整部 中川 あや)

会 期：2012年10月20日(土)～12月2日(日) 開館時間：9:00～16:30 (入館は16:00まで、月曜休館)

お問合せ：☎0742-30-6753 (連携推進課) ギャラリートーク：会期中毎週金曜日14:30～(11月第4週目のみ木曜日)



■ お知らせ

奈良文化財研究所創立60周年記念事業

飛鳥資料館 秋期特別展

2012年10月19日(金)～12月2日(日)

「花開く都城文化」

平城宮跡資料館 秋期特別展

2012年10月20日(土)～12月2日(日)

「地下の正倉院・平城宮第一次大極殿院のすべて」

特別講演会

2012年10月6日(土)

「遺跡をさぐり、しらべ、いかす—奈文研60年の軌跡と展望」

於：一橋大学 一橋講堂

日中韓国際講演会

2012年10月20日(土)

「日中韓古代都城文化の潮流—奈文研60年都城の

発掘と国際共同研究—」

於：なら100年会館

第111回公開講演会

2012年11月3日(土)

於：平城宮跡資料館

■ 記録

現地説明会

○平城第495次発掘調査(平城京跡左京三条一坊一・二坪)

2012年9月15日

635名

飛鳥資料館 写真展

2012年8月4日～9月17日

第2回写真コンテスト「遙かなる華の都」 5,385名

第110回公開講演会

2012年6月30日

250名

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp/>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2012年9月